

特集1

2016年 総決算

サンテックパワージャパンからのメッセージ

「提案力」、「技術力」、「現場力」を活かし、
スピード重視で社会のニーズに応える「太陽光+a」を提案



2016年は弊社にとって新しい挑戦を始めた年でした。メガソーラーから住宅屋根まで、幅広く太陽光発電をご提案するだけでなく、太陽光を軸にした新しい提案、「太陽光+a」を始めました。これは、国内での35年以上にわたる太陽光に関する実績をベースに、プラスアルファで、新たなエネルギーを求める社会のニーズに応える戦略です。住宅向けの太陽光発電においては、世界的な省エネ機運の高まりや、国内でのZEHの拡大を受け、発電性能が向上した製品の投入や、より長期間の保証を提供する体制を整えました。

一方、産業分野においては、ポストFIT時代に向けた長期安定的発電を支援するモジュールの性能向上を行うとともに、遠隔監視システムやO&Mサービスの事業を強化しました。また順風グループにおける発電事業のノウハウと、長野テクニカルサポートセンターの技術力を合わせ、太陽光発電事業のさらなる強化と、低FIT時代における発電所開発の実現可能性を広げました。太陽光発電の導入があたりまえとなった今、市場は次のステージに向かいます。サンテックパワーでは、その変化にいち早く対応すべく、2017年も「太陽光+a」を掲げ、スピード重視でお客様のニーズにお応えする所存です。

来年は、前身企業である株式会社MSKの創立より50周年の節目の年となります。これもひとえに、皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後も長年の国内実績、経験と技術による「提案力」、「技術力」、「現場力」を活かし、お客様にご満足いただけるよう、「太陽光+a」のソリューションの充実を目指してまいります。



取締役社長 ガオ ジャン

「太陽光+a」で始まった 2016年を振り返る

2月

2月24日
新体制・新戦略
記者発表会を開催



3月

3月2日~4日
PV Expo 2016に出展
メテオコントロール、ファウエイPCSなど
産業向けソリューションを中心に展示



4月

4月1日
サンテックパワー総合補償対象の上限を15kW未満に拡大

4月20日
産業用モジュールの製品瑕疵保証を12年に

モジュール
瑕疵保証
12年

6月

6月1日
O&Mサービスを自社開発案件以外でも開始

6月27日
低圧向け遠隔監視システムパッケージ
「インテリジェント・アナライザー」発売



7月

6月29日~7月1日
PV Japan 2016に出展

7月20日
ファウエイ社製PCS 33.3kW/40kWをラインナップ追加

8月

8月10日
低圧向けパワコン「GPS55B」
過積載200%に拡大



9月

9月16日
産業用モジュール出力アップを発表
260W→265W, 315W→320W

10月

10月3日
大阪オフィス開設

10月17日
住宅用システム保証(無償)を15年へ延長
住宅用モジュール出力保証規定を緩和→業界最高水準に

製品
瑕疵保証
15年

12月

12月13日
香取太陽光発電所 I が稼働開始

特集2

編集部より

ニュースレター編集の一年を振り返って

ニュースレターの編集・発行はマーケティンググループで行っています。発行を始めたのが昨年(2015年)の12月、パートナー様とコミュニケーションを取りたいという思いから始まりました。今回年表を作成し、改めてたくさんのトピックスがあったと感じています。2016年はイベントの準備と共に始まりました。2月の記者発表、3月のPV Expo出展とこれまでにない慌ただしい日々が続いたことを思い出します。また、記者発表時にお披露目した「太陽光+a」は、当社の大きなキーワードとなりました。マーケティングとしても、あらゆるイベントや広告などで皆様にご案内する機会を増やしてきました。来年は「太陽光+a」に加え、もう一つ大きなキーワードがあります。それは「創立50周年」です。これまでの実績を振り返ると共に、さらなる50年に向けた成長と発展を決意する年となります。この記念すべき年を皆様と共に盛り上げていきたいと思っています。ニュースレターもさらに内容を充実させていきたいと考えておりますので、是非ご意見やご要望をお寄せください。2017年も引き続きよろしくお願いたします。(編集部)

